



次世代に自然の大切さを伝えます

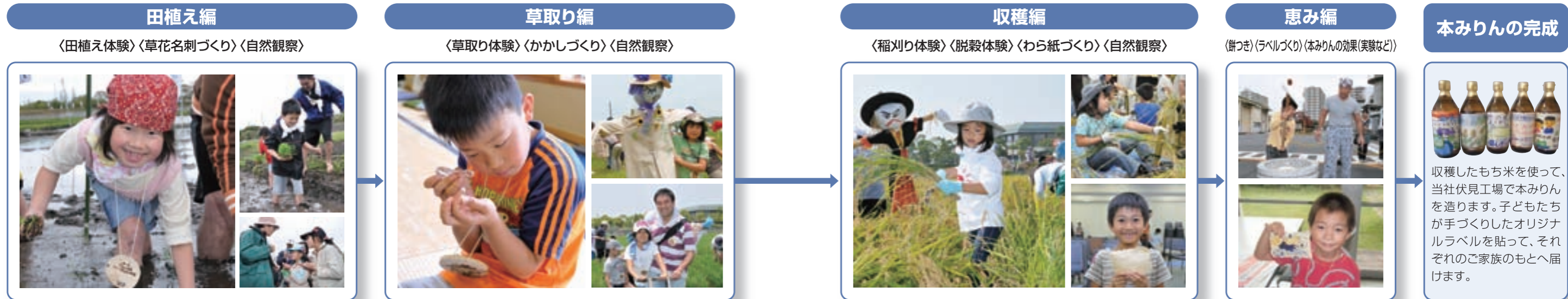
自然の恵みと命のつながりを学ぶ「TaKaRa 田んぼの学校」を開校しました。

TaKaRa 田んぼの学校 2008 を開校

宝酒造は、穀物や水、微生物など自然の恵みを受けて事業活動を行っています。このため、企業理念に「自然との調和」を謳い、古くから環境活動に積極的に取り組んできました。

このような活動の一環として、次世代を担う子どもたちに自然の尊さやそれを守ることの大切さを伝えることを目的として、「TaKaRa 田んぼの学校」を開校しました。

HP E: 田んぼの学校



「TaKaRa 田んぼの学校」を支えている人たち

「TaKaRa 田んぼの学校」は、宝酒造の社員とともに、NPO法人森の学校のみなさんや、千葉県印旛郡栄町の農家の方々、千葉県自然観察指導員協会のみなさんなど、多くの人たちの協力に支えられて運営しています。

NPO 法人森の学校: 学校運営支援

NPO 法人森の学校は、生きる知恵と力を育む自然学校を群馬県南牧村で年間を通じて開校しており、環境教育についての豊富な経験とアイデアを持っています。このため、TaKaRa 田んぼの学校の授業内容や学校運営について全面的な支援をしてもらっています。



千葉県自然観察指導員協会 (自然かんさつ千葉) のみなさん: 自然観察指導

自然観察の授業は、千葉県自然観察指導員協会の方々を担当していただいています。田んぼの中やその周辺の身近な自然の中に生息する生き物を、興味深い話を交えながら紹介していただいています。



千葉県印旛郡栄町の農家の方々: 稲作指導

田植え、草取り、稲刈りなどの指導は、栄町の農家の方々に指導してもらっています。特に、田んぼを提供していただいている帯金さんには苗の準備から、日頃の田んぼの管理までお願いしています。



社員ボランティア: 授業の準備や補助

毎回、20~30名の宝酒造およびTaKaRaグループ会社の社員が、ボランティアとして参加しています。自然観察や農作業体験など各授業の準備をしたり、講師の先生の補助をして授業のサポートをします。また、4回目の恵み編では授業の講師としても活躍しています。

